先端国際共同研究推進事業

Adopting Sustainable Partnerships for Innovative Research Ecosystem（ASPIRE）

**-----**

**2025年度 TopのためのASPIRE**

**2025 ASPIRE FOR TOP SCIENTISTS**

**申請様式
（Application Form）**

・フォントサイズは11ポイント以上としてください。

・全体を通し、簡潔にわかりやすく記載し、繰り返しや冗長さを避けてください。

・申請書作成時は、イタリック体（グレー）で記載のガイドを削除してください。

・審査はe-Radの入力内容ではなく本申請書の内容を正として実施します。

以前、「TopのためのASPIRE」（「Top研究者のためのASPIRE」、「TopチームのためのASPIRE」含む）へ応募したことがありますか。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 応募したことがない |
|  | 応募したことがある　　　　　　　 | 応募した分野 |  |

※応募したことがあると答えた方は、後ページの「参考」をご記載ください

* **課題名**

**Title of the Collaborative Research Project**

|  |
| --- |
| （日本語） |
| （English） |

* **研究課題分野**

**Research Filed**

該当する分野の番号を1つ、記載してください。

①AI・情報 (AI and Information)、②バイオテクノロジー (Biotechnology)、

③エネルギー (Energy)、④マテリアル (Materials)、⑤量子 (Quantum)、

⑥半導体 (Semiconductors)、⑦通信 (Telecommunications)

|  |
| --- |
| 分野番号 |
|  |

※提案課題に対する審査は本項目に記載された分野で行いますが、審査者の判断により、異なる分野で審査する場合があります。

|  |
| --- |
| * **日本側研究代表者**

**Japan-based Principal Investigator** |
| 姓 | 例：科学 | 名 | 例：太郎 |
| Last Name | 例：Kagaku | First Name | 例：Taro |
| 年齢 | 　　　　才　（令和7年4月1日時点） |
| 所属機関名/部署名/役職 | （日本語） |
| Organization/Department/ Title | （英語） |
| 住所 | （日本語） |
| TEL |  |
| E-mail |  |
| 応募資格制限 | 本事業以外の競争的研究費制度等の応募資格制限 有／無　*※該当しない方を削除してください。* |
| * **相手国側研究代表者**

**Counterpart-based Principal Investigator***※相手国側研究代表者が複数名いる場合は、記入欄を追加してください。* |
| 相手国 |  |
| 名 | 例：デイヴィッド | 姓 | 例：サイエンス |
| First Name | 例：David | Last Name | 例：Science |
| 年齢 | 　　　　才　（令和7年4月1日時点） |
| 所属機関名/部署名/役職 | （日本語）*※省略不可* |
| Organization/Department/ Title | （英語） |
| 相手側FA名[[1]](#footnote-1) | *（複数ある場合、1箇所のみ記載）* |
| 課題ID等 | *（Award No., Project ID, Acronym等各国FAにて付与されている課題を識別できるもの（申請中の場合は、申請番号等））* |
| 相手国側支援期間 | YYYY/MM/DD　～　YYYY/MM/DD　　 |
| 採択判明時期（申請中のみ） | YYYY/MM |
| Address | （英語） |
| TEL |  |
| E-mail |  |
| 他ASPIRE公募で支援中の課題に相手国側研究代表者として参加している | はい／いいえ　*※該当しない方を削除してください。* |
| 上記で「はい」と回答した場合）参加している課題名 |  |

* **概要（日本語・英語）　―日本語：400文字程度、英語：250ワード程度―**

**Project Summary of Proposed Joint Research/Survey**

*※採択後のプレスリリースおよび、相手国の関係機関との情報共有に使用します。研究の概要及び頭脳循環の促進に資する若手研究者育成の概要を日本語・英語両方に記載してください*。

＜日本語＞

*本研究は・・・を目的とする。具体的には、日本側チームは・・・を行い、相手側チームは・・・を行う。両国チームによる研究を通して・・・が期待される。また、頭脳循環の促進のための・・・を通して・・・が期待される。*

＜English＞

*This collaborative research aims to… Specifically, the Japanese research team will... The XXX research team will ... Through collaborative and complementary research, and promotion of researcher mobility, this research is expected to...*

* **参考：過去提案からの主な修正点（日本語）　―5行程度―**

**Major changes from previous proposal – up to 5 lines–**

*※以前、「TopのためのASPIRE」（「Top研究者のためのASPIRE」、「TopチームのためのASPIRE」含む）へ応募したことがある、と回答した方のみ、以前の提案内容からどのように変更、修正したか簡潔に記載してください。*

* **応募の背景と本申請の強み（日本語）―1頁以内厳守―**

**Background and strengths of this application –up to 1 page–**

*※箇条書きなどで簡潔に記載してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 提案課題を通じて該当分野を国際的にリードできると考える理由 |  |
| 当該分野において提案課題が重要であると考える理由 |  |
| 国際的なネットワーク構築やコミュニティ参画により当該分野の研究が加速度的に進展すると考える理由 |  |
| 提案した頭脳循環の促進のための施策が国際的に活躍できる人材の育成に貢献すると考える理由 |  |

|  |
| --- |
| **※申請書作成時、このboxは削除ください。**この項目では、以下の観点から審査を行います。* + 1. 研究体制の妥当性・多様性
* 目的の達成や成果の創出を見据えた、専門性のバランスのとれたチーム構成になっているか
 |

* **日本側チームの研究者（日本語）**

**Researchers in Japanese Team**

**・日本側チームの構成概要**

*※日本側研究チームがどのような専門性をもつ研究者によって構成され、どのような分野を網羅しているのか簡潔に記述して下さい（3行程度）。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **役割** | **氏名****（渡航期間**※2**）** | **機関名および部署名** | **役職****（学年）** | **学位** | **専門分野** |
| 研究代表者 |  |  |  |  |  |
| 主たる共同研究者※1 |  |  |  |  |  |
| 渡航する研究者※2 | （20XX年X月～20XX年X月） |  |  |  |  |
| 研究参加者 | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

*※学生の場合は、役職の列に学年も記載してください。*

※1：日本側研究参加メンバーのうち、研究代表者以外で、JSTと委託研究契約を締結し研究費を受領して研究を進める予定の方について記載してください。研究代表者と異なる機関に所属し、自身の所属機関において直接委託研究費を受領し執行する研究者が該当します。

※2：渡航する研究者については、氏名の下に具体的な渡航期間を記載してください。現時点で明確に渡航する研究者が確定していない場合または上記以外にも渡航する研究者の見込みがある場合は、渡航の見込み（人員の確保が現実的に見込めるか含め）を簡潔に下欄に記載してください（任意）。

|  |
| --- |
| *例）2026年度より博士学生が日本側チームに6名加わり、うち3名については2027年度より1名あたり1年相手側研究先に渡航させる予定* |

* **相手国側チームの研究者（日本語または英語）**

**Researchers in Counterpart Team**

**・相手国側チームの構成概要**

*相手国側研究チームがどのような専門性をもつ研究者によって構成され、どのような分野を網羅しているのか簡潔に記述して下さい（3行程度）。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **Role** | **Name****（招聘期間**※3**）** | **Organization, Department** | **Title** | **Academic Degree** | **Area of Expertise** |
| Principal Investigator |  |  |  |  |  |
| Invited Researcher※3 | （20XX年X月～20XX年X月） |  |  |  |  |
| （Researchers） |  |  |  |  |  |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 |  | 　 | 　 |
|  | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

*※相手国側研究代表者が複数名いる場合は、代表者毎にチームの構成を記載してください。*

*※学生の場合は、役職の列に学年も記載してください。*

※3：Invited Researcherについては、氏名の下に具体的な招聘期間を記載してください。現時点で明確に招聘する研究者が確定していない場合または上記以外にも招聘する研究者の見込みがある場合は、招聘の見込み（人員の確保が現実的に見込めるか含め）を簡潔に下欄に記載してください（任意）。

|  |
| --- |
| *例）2026年度より博士学生が相手側チームに6名加わり、うち3名については2027年度より1名あたり1年日本側チームに招聘することで相手側と合意済み* |

|  |
| --- |
| **※申請書作成時、このboxは削除ください。**この項目では、以下の観点から審査を行います。③研究内容及び計画の妥当性と質の高さ* 研究提案内容が該研究分野・領域において高い水準のものであるか
* 国際的に高い評価を得る研究成果の創出が期待できるか
* 相手国側研究チームと国際共同研究を実施することによる相乗効果が期待できるか
 |

* **共同研究の内容・計画（日本語）　－図表を含めて3頁以内－**

**Project Description of Proposed Joint Research –up to 3 pages–**

*※国際共同研究の内容を具体的に記述してください。その際に、相手側研究チームと日本側研究チームの分担内容(PIとCo-PIの分担含む)を明確にしてください。*

|  |
| --- |
| **※申請書作成時、このboxは削除ください。**この項目では、以下の観点から審査を行います。④国際ネットワーク構築・拡大のための目標設定及び計画の具体性・妥当性* 目標とする国際的なトップ研究コミュニティが明確に設定できており、本公募の趣旨に合致するものであるか
* 目標とする国際的なトップ研究コミュニティの構築・参画・発展を目的として、適切で具体的且つ実現可能な計画が立てられているか
* 国際ネットワーク構築・拡大のために十分な予算が確保されており、適切な予算計画がたてられているか
 |

* **国際ネットワーク構築・拡大のための戦略・計画（日本語）　－2頁以内－**

**Strategy and plans for building and expanding international networks in research field**

**–up to 2 pages–**

*※本プログラムでは、国際的なトップ研究コミュニティの中に入り込み、安定的にそのネットワークを維持しつつ最新の研究開発活動に関与することを目的としています。国際的なトップ研究コミュニティの構築・参画・発展を目的として、本提案を通して国際的ネットワークを構築・拡大するための具体的な計画を記述してください（特に初年度・次年度の計画については具体的に記述してください）。*

*※下記を必ず含めて記述してください。*

1. *最終的にどのような国際的トップコミュニティへの参画を狙うのか、またはどのような国際的なトップコミュニティを作っていくのか、又は既に国際的なトップ研究コミュニティに参画している場合は、今後トップ研究コミュニティをどのように発展させていくことを目標とするのか記述してください。*
2. *aを踏まえて、本課題では課題終了時に具体的にどのようなネットワークが構築・拡大されている状態を目指すのか記述してください。*

|  |
| --- |
| **※申請書作成時、このboxは削除ください。**この項目では、以下の観点から審査を行います。1. 国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者等の人材育成計画の具体性・妥当性
* 今までの国際頭脳循環等を通した若手研究者等の育成実績を踏まえて、適切な育成目標が設定されているか
* 十分な数の若手研究者等が参画する計画となっているか
* 効果的な若手研究者等の育成計画が立てられ、次世代のトップ研究者を育成するために適切な計画となっているか
* とくに、若手研究者の渡航計画及び海外からの招聘計画においては、渡航先・招聘先での役割や滞在期間等が具体的かつ明確であり、研究環境や研究機関の受け入れ体制は整っているか
* 個々の計画は、例えば派遣先、招聘先の受入れ体制等の準備、調整・協議が具体的に進捗しているなど、実現性の高い計画になっているか
* 若手研究者等の人材育成に十分な予算が確保されており、適切な予算計画がたてられているか
 |

* **国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者の人材育成戦略・計画（日本語）－2頁以内－**

**Nurturing strategy and plan for early career researchers contributing to the promoting international researcher mobility– up to 2 pages–**

*※国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を若手研究者等へ提供するなど次世代のトップ研究者になることが期待される若手研究者等を育成するための具体的な計画を記述してください。*

*※特に初年度・次年度の計画については具体的に記述してください。*

*※下記を計画に盛り込むことを必須とします。*

*・若手研究者等を海外に原則1年程度派遣すること*

*・海外から若手研究者等を招聘すること*

*また、上記に関する計画は、対象人数や期間、渡航先・招聘先などを含む渡航・招聘にかかる具体的な研究計画および交流計画、渡航先・招聘先での受入体制、期待される成果等を必ず記載してください。*

*※計画には下記を必ず含めて記述してください。*

1. *本プログラムでは国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を若手研究者等へ提供するなど次世代のトップ研究者になることが期待される若手研究者等の育成を目的としています。本目的を踏まえ、今までどのような方針・方法で若手研究者等の育成を実施し、その結果どのような成果があったか具体的に記述してください。*
2. *今までの若手研究者等の育成実績を踏まえ、本提案を通してどのように若手研究者等が育成されることを目指すのか目標を記述してください。*
3. *本提案を通して相手国側研究チームへの渡航やシンポジウムへの参加など育成対象して本課題へ参画予定の日本側若手研究者等の人数・所属（大学や研究機関名）・実施内容等を記述してください。*
* **経費計画**（日本側にかかる経費のみをご記入ください。）

**Budget Plan (Japanese Team)**

* **支出全体の内訳**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **項目** | **金額（千円）** |
|  |  | **2025年度** | **2026年度** | **2027年度** | **2028年度** | **2029年度** | **2030年度** | 小計 |
| 直接経費 | 旅費 |  　 |  |  |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |  |  |  |
| 物品費 |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費（直接経費の30%） |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |  |

*※支援期間は2025年12月1日～2031年3月31日とします。*

*※１課題あたりの支援期間での総額予算は5億円（直接経費の30%にあたる間接経費を含む）としてください。*

*（1課題あたり支援期間での直接経費の総額は、最大384,615千円となります。）*

* **国際的ネットワーク構築・拡大や国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者育成に係る費用**

*※上記支出全体の内訳の内、国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者等の育成を目的として使用予定の費用総額を記載してください（トップ研究者・若手研究者間のコネクション強化を目的としたWS開催や渡航費、渡航後に発生する費用、相手国側からの招聘かかる渡航費や滞在費、報酬など等が含まれます）。*

*※使用予定の直接経費総額の7割以上を目安に国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者等の育成を目的とした使用用途としてください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **項目** | **金額（千円）** |
| 直接経費 | 旅費 |  |
| 人件費・謝金 |  |
| 物品費 |  |
| その他 |  |
| 小計 |  |
| 間接経費（直接経費の30%） |  |
| 合計 |  |

* **支出の概要**

**（国際的ネットワーク構築・拡大や国際頭脳循環等の促進に資する若手研究者育成に係る費用）**

*※初年度・次年度の支出概要についてはより具体的に（金額の内訳がわかるように）記載してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **項目** | **支出の概要（5年間）** |
| 直接経費 | 旅費 | *旅費について記載ください（目的、場所、人数等など簡潔に）* |
| 人件費・謝金 | *人件費・謝金について記載ください**(雇用費を記載する場合は、雇用の目的を簡単に記載してください)* |
| 物品費 | *設備費・消耗品費について記載ください* |
| その他 | *ワークショップ費用等その他費用についてご記載ください* |
| 小計 | － |
| 間接経費（直接経費の30%） | － |
| 合計 | － |

**備考欄**

*※公募要領別紙（日本側応募者への応募にあたっての注意事項」の第2章「選考における利益相反マネジメントの実施」の (2.2 PIの利益相反マネジメント、2.3 JSTの利益相反マネジメント を参照の上、「PIに関係する機関」を参画機関とする場合、もしくはJSTの出資先企業を参画機関とする場合には、この欄に申告。*

|  |
| --- |
| **※申請書作成時、このboxは削除ください。**この項目では、以下の観点から審査を行います。* + 1. 日本側研究チーム及び相手国側チームの研究代表者の適格性
* 研究代表者は十分なマネジメント能力を有しているか
* 研究代表者は国際的なトップ研究コミュニティの中に入り込むことが期待される程の十分な研究実績を有しているか、または既に入り込んでおり十分な研究実績を有しているか
* 研究代表者は国際頭脳循環等を通して今まで若手研究者等の人材育成を実施した十分な実績があるか
* 本公募の趣旨に沿った研究活動を遂行する上で、十分な研究資源（研究資金、人的・物的資源等）を備えているか
 |

* **日本側　研究代表者の実績（日本語）―5頁以内―**

**Achievements of Japan-based Principal Investigator– up to 5 pages–**

|  |
| --- |
| * **研究者情報（Researcher information）**
 |
| （１）URL：*※ORCIDのリンクを貼り付けてください（ORCID IDをお持ちでない場合は、Publons、Google Scholar（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）の研究者情報ページのリンクを貼り付けてください）。* |
| （２）研究代表者の経歴*※職歴（年表）を記載してください。大型プロジェクトなどの主催経験があれば職歴の中にあわせて記載してください。* |

|  |
| --- |
| * **研究実績（Research achievements）**
 |
| （１）研究実績概要*※本項目では、本事業で支援を受けるに値するトップ研究者として該当分野においてどのような実績を残してきたか、アピールするポイントを含めて研究における実績を簡潔に記述してください。* |
| 1. 研究実績を示す主要責任著者論文（5件以内）

*※優れた研究実績の裏付けとなる、責任著者（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）として発表した論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、用いたデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）および当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・責任著者には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**※必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（論文3件まで）。* |
| 1. 本提案に関連する主要責任著者論文（5件以内）

*※本提案に関連する、責任著者（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）として発表した論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、用いたデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）および当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・責任著者には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**※必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（論文3件まで）。* |
| 1. Top10%国際共著論文（10件以内）

*※Top10%国際共著論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・使用するデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）やTop10％の定義方法、Top10％論文であることを認識できるエビデンスを明示してください。**・責任著者論文（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名* |
| 1. 過去10年間の国際会議における基調講演・キーノート講演（10件以内）

*※過去10年間における主要な国際会議における基調講演・キーノート講演を記述してください。記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（国際会議名、開催場所、日付等）。基調講演・キーノート講演以外は記載しないでください。**※必要に応じて自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（国際会議3件まで）。* |
| （６）その他研究実績*※学術的な実績に限らず、当該分野において高い研究実績や国際ネットワークを有する等、本事業で支援を受けるに値する研究者であることを示す根拠があれば自由に示して下さい**例）標準化への貢献、産学連携を通した社会実装、特許取得、重要な国際会議におけるチェア、海外著名大学での冠講義、等* |

|  |
| --- |
| * **過去10年間における国際人材交流実績（International personnel exchange achievements over the past 10 years）**
 |
| *※過去10年間における国際人材交流の実績（若手研究者等の派遣や相手国側からの招聘、シンポジウムの開催等）及び交流による成果を記述してください。実績を記述する際には、人数や滞在期間、場所などの具体的な内容を含めてください。* |

* **日本側　主たる共同研究者の実績（日本語）―5頁以内―**

**Achievements of Japan-based Co Principal Investigator– up to 5 pages–**

*※「日本側チームの研究者」で主たる共同研究者として記載した研究者の人数分、欄を増やして記載ください*

|  |
| --- |
| * **研究者情報（Researcher information）**
 |
| 1. 氏名：

URL：*※ORCIDのリンクを貼り付けてください（ORCID IDをお持ちでない場合は、Publons、Google Scholar（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）の研究者情報ページのリンクを貼り付けてください）。* |
| （２）研究者の経歴*※職歴（年表）を記載してください。大型プロジェクトなどの主催経験があれば職歴の中にあわせて記載してください。* |

|  |
| --- |
| * **研究実績（Research achievements）**
 |
| （１）研究実績概要*※本項目では、本事業で支援を受けるに値するトップ研究者として該当分野においてどのような実績を残してきたか、アピールするポイントを含めて研究における実績を簡潔に記述してください。* |
| 1. 研究実績を示す主要責任著者論文（5件以内）

*※優れた研究実績の裏付けとなる、責任著者（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）として発表した論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、用いたデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）および当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・責任著者には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**※必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（論文3件まで）。* |
| 1. 本提案に関連する主要責任著者論文（5件以内）

*※本提案に関連する、責任著者（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）として発表した論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、用いたデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）および当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・責任著者には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**※必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（論文3件まで）。* |
| 1. Top10%国際共著論文（5件以内）

*※Top10%国際共著論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・使用するデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）やTop10％の定義方法、Top10％論文であることを認識できるエビデンスを明示してください。**・責任著者論文（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名* |
| 1. 過去10年間の国際会議における基調講演・キーノート講演（5件以内）

*※過去10年間における主要な国際会議における基調講演・キーノート講演を記述してください。記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（国際会議名、開催場所、日付等）。基調講演・キーノート講演以外は記載しないでください。**※必要に応じて自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（国際会議3件まで）。* |
| （６）その他研究実績*※学術的な実績に限らず、当該分野において高い研究実績や国際ネットワークを有する等、本事業で支援を受けるに値する研究者であることを示す根拠があれば自由に示して下さい**例）標準化への貢献、産学連携を通した社会実装、特許取得、重要な国際会議におけるチェア、海外著名大学での冠講義、等* |

|  |
| --- |
| * **過去10年間における国際人材交流実績（International personnel exchange achievements over the past 10 years）**
 |
| *※過去10年間における国際人材交流の実績（若手研究者等の派遣や相手国側からの招聘、シンポジウムの開催等）及び交流による成果を記述してください。実績を記述する際には、人数や滞在期間、場所などの具体的な内容を含めてください。* |

* **相手国側　研究代表者の実績（日本語または英語）―5頁以内―**

**Achievements of Counterpart-based Principal Investigator– up to 5 pages–**

*※相手国側研究代表者が複数の場合は人数分、欄を増やして記載ください。*

|  |
| --- |
| * **研究者情報（Researcher information）**
 |
| （１） 氏名：URL：*※ORCIDのリンクを貼り付けてください（ORCID IDをお持ちでない場合は、Publons、Google Scholar（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）の研究者情報ページのリンクを貼り付けてください）。* |
| （２）研究代表者の経歴*※職歴（年表）を記載してください。大型プロジェクトなどの主催経験があれば職歴の中にあわせて記載してください。* |

|  |
| --- |
| * **研究実績（Research achievements）**
 |
| （１）研究実績概要*※本項目では、本事業で支援を受けるに値するトップ研究者として該当分野においてどのような実績を残してきたか、アピールするポイントを含めて研究における実績を簡潔に記述してください。* |
| （２）研究実績を示す主要責任著者論文（5件以内）*※優れた研究実績の裏付けとなる、責任著者（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）として発表した論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、用いたデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）および当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・責任著者には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**※必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（論文3件まで）。* |
| （３）本提案に関連する主要責任著者論文（5件以内）*※本提案に関連する、責任著者（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）として発表した論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、用いたデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）および当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・責任著者には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**※必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（論文3件まで）。* |
| （４）Top10%国際共著論文（5件以内）*※Top10%国際共著論文及びそれぞれの引用回数を記述してください。**・記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。**・使用するデータベース（※マテリアル分野においてはGoogle Scholar不可）やTop10％の定義方法、Top10％論文であることを認識できるエビデンスを明示してください。**・責任著者論文（ここでは、自らが主体となって遂行するプロジェクトの成果としての論文を指します）には氏名に「\*」を付けて下さい。**・原著論文以外（総説など）を記載する場合は、タイトルの前に「●」を付けて下さい。**記載例1）原著論文の場合**"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名**記載例2）原著論文以外の場合**●"Paper Title "**The ABC Materials. 16 (1936) 256., Citation : 100 (Scopus)**T.Kagaku, J.Smith, H.Tanaka\*, 他8名* |
| （５）過去10年間の国際会議における基調講演・キーノート講演（5件以内）*※過去10年間における主要な国際会議における基調講演・キーノート講演を記述してください。記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（国際会議名、開催場所、日付等）。基調講演・キーノート講演以外は記載しないでください。**※必要に応じて自身の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください（国際会議3件まで）。* |
| （６）その他研究実績*※学術的な実績に限らず、当該分野において高い研究実績や国際ネットワークを有する等、本事業で支援を受けるに値する研究者であることを示す根拠があれば自由に示して下さい**例）標準化への貢献、産学連携を通した社会実装、特許取得、重要な国際会議におけるチェア、海外著名大学での冠講義、等* |

|  |
| --- |
| * **過去10年間における国際人材交流実績（International personnel exchange achievements over the past 10 years）**
 |
| *※過去10年間における国際人材交流の実績（若手研究者等の派遣や日本側からの招聘、シンポジウムの開催等）及び交流による成果を記述してください。実績を記述する際には、人数や滞在期間、場所などの具体的な内容を含めてください。* |

* **他制度での助成等の有無（日本語）**

**Subsidies under Other Schemes**

（本項目は、本公募の趣旨に沿った国際ネットワーク構築や国際頭脳循環に資する若手研究者等の育成に関する研究活動を遂行する上で、基盤となる十分な研究資源（研究資金、人的・物的資源等）を備えているかを確認するための項目となります。本提案との研究内容の重複を確認するものではありません。）

【注意事項】

・研究代表者および主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度(先端国際共同研究推進事業を含む)やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。日本側応募者への応募にあたっての注意事項「第 4 章 応募に際しての注意事項」もご参照ください。

・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

・本提案課題を必ず１つ目に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体、総額)が多い順に記入してください。

・必要に応じて行を増減してください。

## 研究代表者：　氏名　（所属 役職）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2027年度 予定)****(3) 〃 (2026年度 予定)****(4) 〃 (2025年度 実績)** | **2026****年度****ｴﾌｫｰﾄ****(％)** |
| 　- | 2025 ASPIRE FOR TOP SCIENTISTS | 申請 | 提案課題名（〇〇〇〇） | 2025.12－2031.03 | 代表 | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (1) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |

|  |
| --- |
| 上記にて本公募の趣旨に類似するプログラムで同じ規模の研究費を受給している、または申請中であるとして記載した場合は、本公募および当該研究費の両方から受給する意義を簡潔に記載してください（3行まで）。 |
|  |

## 主たる共同研究者（１）：　　氏名　（所属 役職）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2027年度 予定)****(3) 〃 (2026年度 予定)****(4) 〃 (2025年度 実績)** | **2026****年度****ｴﾌｫｰﾄ****(％)** |
| 　- | 2025 ASPIRE FOR TOP SCIENTISTS | 申請 | 提案課題名（〇〇〇〇） | 2025.12－2031.03 | 分担 | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (1) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |

## 主たる共同研究者（２）：　　氏名　（所属 役職）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給****状況** | **研究課題名****(代表者氏名)** | **研究****期間** | **役割****(代表/****分担)** | **(1)本人受給研究費****(期間全体)****(2) 〃 (2027年度 予定)****(3) 〃 (2026年度 予定)****(4) 〃 (2025年度 実績)** | **2026****年度****ｴﾌｫｰﾄ****(％)** |
| 　- | 2025 ASPIRE FOR TOP SCIENTISTS | 申請 | 提案課題名（〇〇〇〇） | 2025.12－2030.03 | 分担 | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (1) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (2) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |
| (3) |  |  |  | － |  | (1) 千円(2) 千円(3) 千円(4) 千円 |  |

**研究代表者　記入用チェックリスト**

※法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応について、提案内容に照らして各項目の該当／非該当を選択してください。該当する場合は「□」を「■」と記載してください。（複数選択可）

「その他」に該当する場合、内容を具体的に記載してください。

|  |
| --- |
| **法令等の遵守、人権の保護、知的財産取扱への対応** |
| （１）安全保障貿易管理に対する取組を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 試料、装置や情報を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である□　リスト規制、キャッチオール規制に該当しない□　リスト規制に該当し、適切に輸出措置を行う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　キャッチオール規制に該当し、適切に輸出措置を行う（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （２）生物遺伝資源等利用に伴う各種規制に対応する必要がある研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 遺伝資源を含む試料等を相手国・地域に持ち出し、提供する予定である日本国内で遺伝子組換え生物等を用いる際の規制措置に該当する□　カルタヘナ法を遵守し、各種申請を適切に行う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　名古屋議定書の国内措置であるABS指針に従う　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　その他（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （３）個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」 | 個人情報を伴う調査・研究等を実施する予定である□　個人情報保護に関する法律を遵守する　　（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （４）知的財産等の取扱に対する配慮が必要な研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| [□該　当]※右欄の該当部分を「■」※複数選択可 | 試料や装置、研究情報や結果を相手国・地域と共有する予定である□　国際共同研究契約を締結する□　秘密保持契約を締結する□　物質移動合意書を締結する□　その他（　*具体的に実施事項をご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （５）・生命倫理及び安全対策に対する取組を必要とする研究・人権及び利益の保護の取扱いに対応する必要がある研究・社会的・倫理的配慮を必要とする研究 |
| [□非該当] | （　*非該当とした判断理由を具体的にご記入ください*　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  [□該　当] | （　　　　　*該当する場合、研究内容および対策への取り組み**について具体的に記載ください*） |

**上記のとおり相違ありません。**

**20XX年　　月　　日**

**（所属機関名）**

**（役職）　　　　　　　　　（氏名）**

安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催し承認を得る旨の確認書を、申請書とともにJSTに提出してください。やむをえない事情などにより、確認書の提出が公募締切に間に合わないと見込まれる場合は、事前にaspire@jst.go.jpまでお問い合わせください。
公印は省略可能です。各機関において定められた手続きによって省略してください。省略する場合は本頁の右上に機関における文書番号を記載願います。

令和　　年　　月　　日

**確認書**

国立研究開発法人科学技術振興機構　御中

 　　 （研究代表機関）

 　 機関名

 　 機関長名 　　　 公印

先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）に提案する下記の研究提案が採択された場合、研究実施にあたり、安全保障貿易管理上の取組、生物遺伝資源等に関する規制への対応、個人情報の取扱、生命倫理・安全対策などについて想定されるリスクの評価と法令上必要な手続きを履践することに加え、必要に応じて学内等の倫理委員会を開催して承認を得ることを研究機関の責任として確認します。またそれらのための適正な管理を行う環境や体制を整えます。

記

○提案課題名　　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

○研究代表者　　　　　所属部署

役　　職

氏　　名

1. 相手国側の資金配分機関（FA : Funding Agency）や研究機関等の名称 [↑](#footnote-ref-1)